

2014年11月28日

スバル 2015 年型インプレッサが米国 IIHS の 2014 年安全評価で 最高評価「トップセイフティピック(TSP)+」を獲得

- 新型 EyeSight により、前面衝突予防性能試験においても最高評価「Superior」を獲得
- 全ブランド中、最多となる 7 車種での TSP 獲得

このたび、スバルの2015年型インプレッサ(新型EyeSight^{*1}を装着した米国仕様車)が、IIHS^{*2}(道路安全保険協会)が行う最新の2014年の安全性評価において、最高評価「トップセイフティピック+」を獲得しました。また、2015年型モデルから新型EyeSightを採用することで、「トップセイフティピック+」受賞の条件である前面衝突予防性能試験においても、最高評価「Superior」を獲得しました。同試験での獲得ポイントは、「Superior」評価車中で最高となる6ポイントでした。2015年型インプレッサを含め、スバルは7車種について「トップセイフティピック」を受賞(TSP+:4車種、TSP:3車種)しており、全ブランド中で最多の「トップセイフティピック」を獲得しています。

EyeSightは、世界で初めてステレオカメラのみで、歩行者、自転車をも対象としたプリクラッシュセイフティ機能や全車速追従クルーズコントロール機能を実現したシステムで、2008年5月の日本での発売以来、お客様からの高い評価をいただけてきました。新型EyeSightについては、ステレオカメラを全面的に一新し、視野角、視認距離を約40%拡大することで、予防安全・運転負荷軽減機能を更に進化させました。

「トップセイフティピック」を受賞するには前・側・後面衝突、そしてロールオーバー(車両転覆)時の安全評価すべてにおいて最良の乗客保護性能を持ち合わせた車として、最高の「Good」を獲得するとともに、2012年に導入されたスモールオーバーラップ試験においても「Good」または「Acceptable」を獲得する必要があります。2015年型インプレッサは、これら5つの安全性評価項目においても最高評価「Good」を獲得しました。さらに、「トップセイフティピック+」を受賞するには、これらの条件を満たした上で、前面衝突予防評価において「Basic」、「Advanced」、「Superior」のいずれかを獲得する必要があります。

*1 日本市場名称: EyeSight(ver.3)

*2 Insurance Institute for Highway Safety: 米国保険業界の非営利団体



スバル 2015 年型インプレッサ(米国仕様)